

コロナ・パンデミックと教育 世界の子どもと教師は今

新型コロナウイルスの世界的流行で、子どもや教員は大きな困難に直面しました。国連の対応とともに、韓国とアメリカの現状を、10日に民主教育研究所が開催した「コロナパンデミックフォーラム」から紹介します。
(梁矢ゆう子)

民研フォーラムから

国連 対応に子らの意見を

ユネスコの調査によれば、新型コロナウイルスによる休校は186カ国・地域におよび、12億人を超える子どもが自粛を強いられました。

善の利益を考慮すること、休息・余暇・レクリエーション、文化・芸術への権利を享受できる代替策の



堀尾さん

東京大学名誉教授の堀尾輝久さんは、4月6日に国連子どもの権利委員会が各国政府あてに出し



コスモス＝長野県阿智村

米国 ランチも外のテント

和光大学教授の山本由美さんは、アメリカの学校再開を紹介しました。トランプ大統領が安全面での十分な条件整備なしで9月からの学校再開を宣言したことに反対運動がおき、都市ごとにさ

まさまな再開となっています。



山本さん

全学区のうち48%は対面学習、52%が対面と遠隔のミックスが選択、もしくは遠隔のみです。教室内と遠隔の授業を同時にするのは「教師にとって悪夢」、始業から時間割に沿って遠隔授業を受

ける「シンクロ授業」は「生徒、家族、教師にあまりにも負担が大きい」といわれています。

シカゴ市の教員組合は

韓国 教室に入る人数制限

韓国で小学3年生を担任する教員が報告しました。

あり方、疫病と人類のたにかいの歴史などを学ぶ機会になるとのべ、子どもたちの新しい学びを保障しないといけない」と話しました。

韓国の小学校では4月から遠隔授業が行われています。保護者アンケートや学校運営協議会の議論の結果、5月末から週1日の登校を開始。政府はクラスに入る人数を定員の3分の1以下（10月19日から3分の2に緩和）に制限しています。校舎に入ると画像カメラで熱を測り、手を洗います。

「大変なのは保護者に配る1週間の学習予定の作成です」。これまでは年間計画を作れば、週の計画（1枚）も自動で作られましたが、コロナの影響で修正や子どもへの課題の記述も必要となり、枚数も7、8枚に増えました。「教室で授業をする方が楽ですが、インフルエンザの流行期や不登校の子どものために、今後も遠隔授業は増えると思います」

遠隔授業は①ライブ配信②インターネット上に

「サポート職員」がいままの再開に教員組合が抗議し、再開が2回にわたり延期。9月29日から順次再開しましたが、再開後も約50%の児童・生徒が遠隔で学習しています。「米国では、ランチも外でテントを張ってとるなど、室内に多人数を入れないように注意しています」